

令和元年度 デジタル道路地図基礎資料作成要領
農道・林道・臨港道路等(都道府県)

国土交通省 関東地方整備局

国土交通省 国土地理院 関東地方測量部

<目 次>

1. デジタル道路地図基礎資料作成の目的	2
2. 作成・提供いただく資料	3
(1) 作成いただく資料	3
(2) 提供いただく資料	3
3. 幹線的な農道、林道、港湾道路等 提出資料一覧	4
例1 更新データ一覧表(様式1)	6
例2 位置図	9
例3 平面図 CAD データ(工事用等)	10
例4 縦断面図 CAD データ	11
例5 標準横断面図 CAD データ	12
例6 中心線座標リスト	13

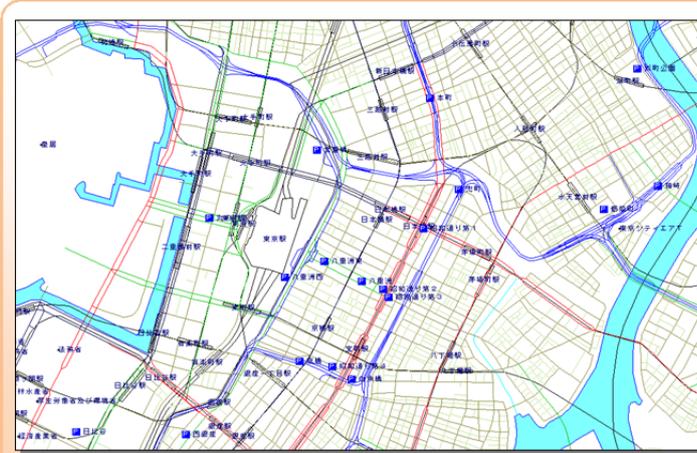
1. デジタル道路地図基礎資料作成の目的

国土交通省の各地方整備局、北海道開発局、内閣府の沖縄総合事務局は、道路情報の最新の状況をデジタルデータとして把握し活用するため、毎年、全国のデジタル道路地図データベース(DRM データベース)を整備・更新しています。この DRM データベースを用いて、VICS、特車オンライン申請システム、道路交通センサス、交通事故分析など、様々な道路管理におけるシステムが運用されるとともにカーナビ用の基盤地図としても活用されています。

一方、国土地理院では、国土管理、地域防災の基本となる「電子国土基本図」を整備しています。電子国土基本図は、国や自治体の管内図をはじめ、民間が作成する様々な地図の更新などにも利用されており、特に道路等の情報については高精度かつ最新の情報として整備を進めているところです。

これらの DRM データベースや電子国土基本図は、最新の道路更新情報に基づいて着実な更新が必要です。そのため、国土交通省地方整備局等と国土交通省国土地理院地方測量部が合同で毎年定期的に「デジタル道路地図基礎資料の作成」を主要道路の管理者に依頼するものです。それぞれの道路管理者が持っている情報で、近く新規供用される道路の情報や管理者・施設等の変更情報を各地図更新用の基礎資料として所定の様式にまとめるとともに、当該箇所の図面データ等の提供を依頼するものです。

精度の高い DRM データベースと国土の基本図が整備され、迅速に着実に更新されるためには、「デジタル道路地図基礎資料」の質の高さに負うところが多大であり、関係道路管理者のご協力が必要不可欠です。

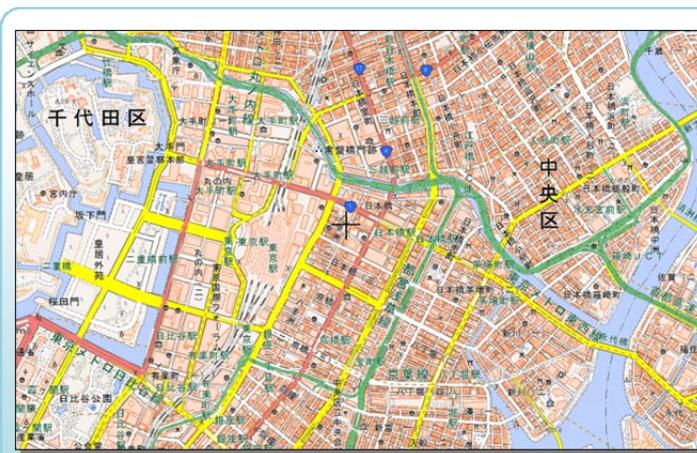


DRMデータベース

DRMデータベースの特徴

DRMデータベースは、道路のネットワークを表す地図のデータベースで、道路網を形成するノードとリンクには、官民が情報を共有するための固有番号(ID)が付与されています。

また、路線名、橋梁・トンネル、踏切等の道路に関する構造物や道路交通センサスの統計情報など、道路に関する情報を保有しています。



電子国土基本図

電子国土基本図の特徴

電子国土基本図は、国土地理院が刊行している1/25,000地形図の電子地図版に相当するもので、道路形状(都市計画区域等では1/2,500精度)のほか、等高線による地形や建物、土地利用の様子、地名などが詳細に表示されています。

インターネット上で、様々な地理的情報を重ねて表示することができ、地図を背景にした情報共有が可能です。

2. 作成・提供いただく資料

(1) 作成いただく資料

①一覧表

■様式1「更新データ一覧表」(6p例1参照)

ご提供いただく内容	道路法以外の幹線的な道路を整理したリスト
対 象 道 路	幹線的な農道・林道・臨港道路(※)
供用予定時期	令和元年度内(事実上の交通開放を含む)
作 業	令和元年度内に開通を予定している対象道路について道路の情報を記入する。

※幹線的な道路とは、広域的な交通が多くネットワークをなす路線、国の補助事業対象道路、広域農道、大規模林道、広域基幹林道、主要な観光地へ連絡する道路、特殊車両通行道路として位置づけられる道路、災害対策基本法に基づく地域防災計画における緊急輸送道路(今後位置づけられる予定の道路も含む)

②位置図 ※管内図・パンフレット等、既存の資料で位置が示された資料があれば作成不要

■位置図(8p例2参照)

ご提供いただく内容	更新対象箇所を記載した地図(既存の図が無い場合作成)
対 象	様式1に情報を追加・修正し、工事用図面を提供する箇所及び道路
作 業	管内図又は1/25,000地形図等に、更新対象箇所の位置と対照番号を記入する。

(2) 提供いただく資料

■工事用図面等(平面図/縦断面図/標準横断面図/道路中心線座標リスト)

希望する資料の内容	道路の形状、既存の道路との接続関係が分かる工事用平面図(10p例3)、及び平面図に対応する縦断面図(11p例4)、道路中心線の座標(測地座標又は平面直角座標)リスト(13p例6)、標準横断面図(12p例5)
対 象	様式1に追加した新規道路及び道路改良箇所
ファイル形式	CAD形式⇒SXF(拡張子がP21又はSFC)、またはAutoCAD(拡張子がDXF又はDWG)

※道路の新設・改良箇所は、①平面図/②縦断面図/③標準横断面図/④道路の中心座標を必ず提出する。

3. 幹線的な農道、林道、港湾道路等 提出資料一覧

都道府県の窓口の方は、担当課の協力を得るなどして令和元年度に供用する農道・林道・港湾道路等のうち、以下の対象道路に該当するものについて、様式1の記載内容の確認、追記と位置図及び平面図の提出してください。

なお、これらの資料提出については、関係省庁から都道府県あて担当部署に協力依頼文書が発出されています。

(参考) 対象道路

○ 幹線的な農道・林道・臨港道路

- ・ 国の補助事業対象道路
- ・ 広域的な交通が多くネットワークをなす路線
- ・ 特殊車両通行道路として位置づけられる道路
- ・ 広域農道、大規模林道、広域基幹林道
- ・ 主要な観光地へ連絡する道路
- ・ 地域防災計画における緊急輸送路として位置付けられる予定の道路

※ 緊急輸送道路として位置づけられている、又は今後位置づけられる予定の道路については必ず含めてください。

更新対象項目		新設	拡幅	線形改良	構造物等の新增設・追加・廃止・名称変更等	管理変更	
内	容	新規路線の新設 バイパス等の新設	中央分離帯設置を伴う拡幅 車線数の増加 ・登坂車線、譲り合い車線設置は除く	道路中心線が移動する線形改良 交差点改良 ・地図上で交差点の形が変更になるような規模の改良を対象とする ・くいちがい交差点(2交差点)を改良して1交差点にする場合は対象とする ・「右左折車線の追加」は対象としない	橋・高架 ・延長15m以上のもの トンネル ・全てのトンネル 踏切、 立体交差 横断歩道橋	新設に伴う旧道の移管 道路管理者・道路種別・ 路線番号等変更 道路の廃止 ・一般の通行の用に供し なくなった道路を含む	
供用・実施予定時期		令和元年度供用 注1					
提出資料 ○印	箇所一覧表	○ 更新データ一覧表(様式1) (例1)					
	位置図	○ (例2)					
	CADデータ	平面図	○ (例3) 注2				
		縦断面図	○ (例4) 注2				
	標準横断面図	○ (例5) 注2					
中心線座標リスト	○ (例6)						

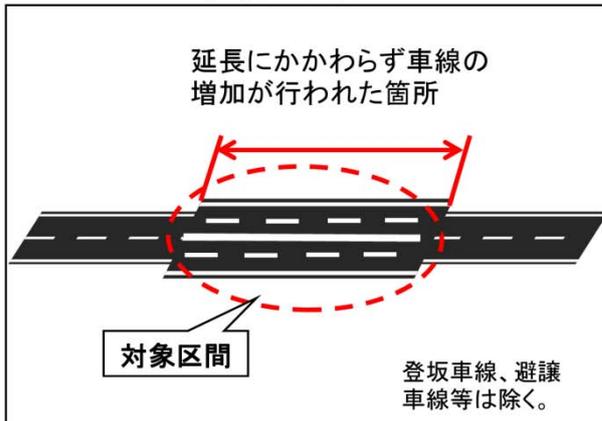
注1 「供用」には告示・公示上の供用のほかに事実上の交通開放等を含む。

注2 できる限りCADで提出してください。形式は次のいずれか・・・SXF形式(拡張子がP21又はSFC)、AutoCAD(拡張子がDXF又はDWG) この形式のCADデータがどうしても無い場合は提出先に相談してください。

■ 対象とする事象

分類	事象
新規供用	道路の新設、バイパスの新設等
拡幅等	車線数の増加・減少、中央分離帯設置(上下線分離)、道路中心線の移動。幅員変更のみ、登坂車線の設置等は除く。
線形改良	局部改良、橋梁架替、トンネル等による道路中心線の移動

拡幅の事例

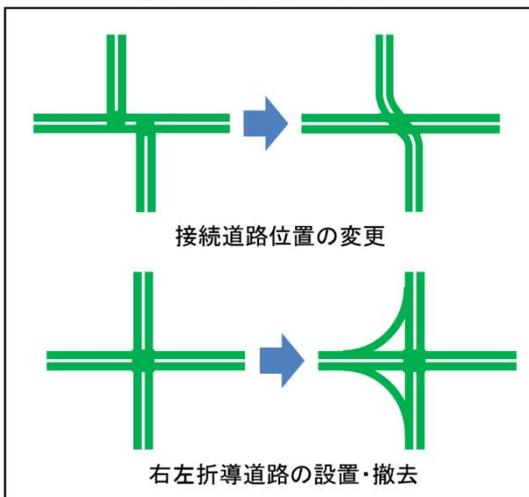


線形改良の事例

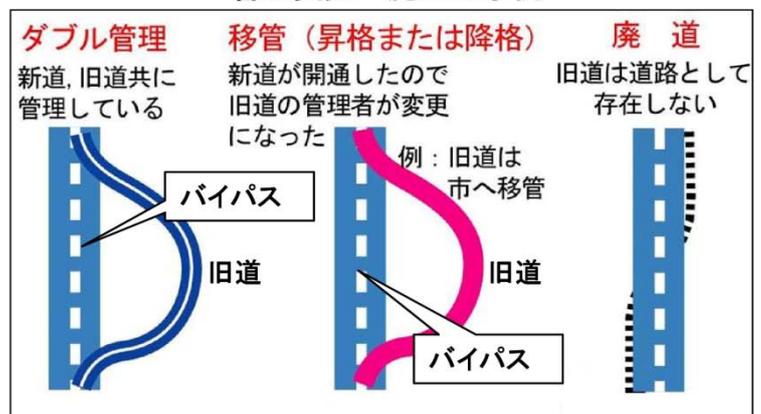


分類	事象
交差点改良	交差点立体化、ラウンドアバウト(環状交差点)、接続道路位置の変更、導流路の設置・撤去。右左折車線設置のみは除く。
管理変更・廃止等	道路管理者・道路種別・路線番号・名称変更など
規制等変更	有料道路の無料化・自動車専用道路の指定変更 ICランプ、交差点導流路など道路構造から決まる一方通行の変更。 公安委員会決定等の一方通行は対象外。

交差点改良の事例



管理変更・廃止の事例



例：更新データ一覧表(様式1)

例1

記入例は架空のものです。
例示した位置図とこの表の記入例は対応していません。

確認済みの場合は「済」と記入

月が未定の場合は年度のみ可

高速道路は、IC等名を記入する

標準幅員を記入

記入者、電話番号等を記入

作成日 令和元年04月01日
 作成所 〇〇〇〇〇
 記入者 〇〇〇〇〇
 電話番号 〇〇-〇〇-〇〇〇〇
 メールアドレス 〇〇〇〇@xxxx.〇〇.jp

資料種別					確認	000管理番号	位置図との対応番号	道路種別	道路番号	更新内容等 (バイパス名)	供用予定年月	区間	延長(m)	標準幅員(m)	高規格(上下層合計)	アーケード架設結果	備考(詳細は理由等)	DRM-OD取得基準 合致判断	出典又は社会資本 総合整備計画番号	国庫の長期維持管理 維持可能な場合は、維持不可 の場合は〇を記入ください	
過年度未整備	H28済	H28済	H28済	H28済	H28済	済	13089030300	1: 高速自動車国道	〇〇〇自動車道	新規供用	30.12	△△△T~〇〇〇C	3,000	10.0	3				〇		
	H28済	H28済	H28済	H28済	H28済	済	13089030301		●トンネル(●とんねる)				600			ゲート架設	一部通行可能		〇		
						済	13089030500		□□□(□□□)		30年度										
						済	14089030700	2: 一般国道	*** 国道**号線	新規供用	30.04.21	〇〇〇〇〇〇〇~△△△△△△△△	3,000	6.5	3		ゲート架設	ダブル管理		×	
						済	14089030900	3: 一般国道	*** 国道**号線 第2工区	新規供用	30年度(1年度)	〇〇〇〇〇〇〇~△△△△△△	2,500	6.0	3		ゲート架設	一般有料		〇	
						済	14089030901			〇〇橋(〇〇ばし)				900			未架設	閉合架設架設		〇	
						済	14089031000	2: 都市高速道路	*** △△△/バイパス	新規供用	30.11	△△△市△△△町△△△T B ~ 〇〇〇町△△△T B	1,600	10.8	2		未架設			×	
						済	15089041000	3: 一般国道	*** 国道**号線	距離標変更(0.1kg~2.5kg)	供用済				200			ゲート架設			
						済	15089041001	3: 一般国道	**	〇〇歩道橋新設	30.11							ゲート架設			
						済	15089041002	3: 都市高速道路	*** △△△/バイパス	〇〇橋切閉止	30.06				10			ゲート架設			
H28済					済	14089040100	3: 都市高速道路	*** △△△田原	線管(□□町~線管)	30.03	〇〇〇〇〇〇〇~△△△△△△	1,000	6.0	2		ゲート架設			〇		
H28済					済	15089030400	6: 一般国道	*** 〇〇停車場線	新規供用	31.03	〇〇〇〇〇〇〇~△△△△△△	1,800							×		
H28済					済	15089031100	8: 都市高速道路	** □□道路	料金所新設	30.03.31				1,600			ゲート架設		〇		
以下に社会資本総合整備計画及びホームページより該当する可能性のあるものを特記しました。上記記載の箇所との重複及び回数中に該当する事業が各々を記載のうえ、該当する場合は異素材一式のご提供をお願いします。																					
社会資本等種	あり	あり (CGあり)	あり	あり (既設)	済		①	5: 主要地方道(指定第1種)	*** ●●道路	交差点改良(××交差点)	31.50	▲▲△~●●●●	250				該当しない(工事内容)		3-A15-0420	〇	
	あり	あり (CGあり)	一部あり	提出不可	済		②	5: 主要地方道(指定第2種)	*** ▲▲道路	新規供用	31.50	▲▲△~●●●●	2,500	18	4		該当する(一部区間)		3-A22-0430	〇	
	あり	あり (CGあり)			済		③	5: 主要地方道(指定第2種)	*** ●●道路	結構改良	31.03	◆◆~〇〇〇〇	900	6	2		該当しない(3年度使用予定)		3-A27-0430	×	
					済		④	5: 主要地方道(指定第2種)	*** 〇〇停車場線	新規供用	31.03	◆◆~〇〇〇〇	1,600	6	2		15089030400	危の記載箇所へ変更		3-A27-0430	〇
					済		⑤	6: 一般国道府県道	** 〇〇△△線	4車線拡幅	30.04	◆◆~〇〇〇〇	850	13	4		該当する		〇〇上本等専用印	〇	
以下に上記以外で別の事業で「令和元~3年度までに完成予定」と見込まれる箇所等が重複して記載して下さい。※移管等も含んで下さい。																					
新規追加種	あり	あり (CGあり)	あり	あり (既設)	済		⑥	6: 一般国道府県道	** 〇〇〇〇線	道路改良	32.03	▲▲〇〇~▲▲〇〇	400							×	
	あり	あり (CGあり)	あり	あり (上)	済		⑦	6: 一般国道府県道	〇〇トンネル(▲▲トンネル)名称変更		31.03		300								
					済		⑧	6: 一般国道府県道	〇〇〇〇線	道路位置変更 車道幅員(〇〇車道)	30.12	◆◆市〇〇町△△T B ~									

旧道が移管、廃止されない場合は「ダブル管理」と記入

供用予定の変更が多数あり、必ずご確認願います

上下線が分離されているときは車道幅員の合計値を記入する

行は必要に応じて追加して下さい
 記載に関する詳細は作成ポイント及び平成30年度デジタル道路地図基盤整備作成マニュアルをご覧ください

様式 1 の作成ポイント

■ 供用予定や工事図面に大幅な変更があった場合も資料提供により変更可能です。

■ 対象箇所が無い場合は空欄のままの様式 1 を送付下さい。

(1) 「資料提供確認」欄 (B～F 列)

① 未受領と記載されている箇所は、該当の資料を受領しておりませんのでご提供下さい。

② ピンクに塗られた箇所及び斜線の箇所については、資料を受領済等ですので不要です。

なお、必要図面等 (本資料の最後に掲載) の添付の可否に係わらず、プルダウンから必要事項を選択して下さい。

(2) 「確認」欄 (G 列)

各行の記載内容を確認し、内容が異なる箇所は赤文字で訂正して下さい。確認が済みましたら必ず「済」と記入して下さい。

(3) 「位置図との対象番号」欄 (I 列)

図面等を添付する必要がある場合は、この欄に通し番号を記入し、その番号を添付ファイル名にも付けて下さい。

(4) 「道路種別」欄 (J 列)

下記から当てはまる道路種別の番号または記号をご記入ください。

- | | | |
|-----------------|----------------|-----------|
| 1：高速自動車国道 | 2：都市高速道路 | 3：一般国道 |
| 4：主要地方道 (都道府県道) | 5：主要地方道 (指定市道) | 6：一般都道府県道 |
| 7：政令市の一般市道 | 9：政令市以外の一般市町村道 | |
| A：臨港道路 | B：農道 | C：林道 |
| D：道路運送法の道路 | E：私道 | F：その他 |

一般有料道路については、備考欄に「一般有料」と記入して下さい。

(5) 「更新内容等」欄 (N 列)

① 道路の更新箇所について

新規供用、拡幅・中央分離帯設置 (上下分離)、線形改良、交差点改良、管理変更 (過去 3 年間の管理変更・廃道など) 等を記載して下さい。

② 道路施設等について

橋梁等の対象施設の名称 (漢字等の表記と読み仮名) を、①から改行して記載して下さい。

【該当性の判断基準】

平成 32 年度までに供用予定見込 (工区の一部で供用予定のものも該当します)

(都道府県・政令市の農道・林道・臨港道路等は令和元年度まで)

- ・ 新規供用 (道路の新設、バイパス)、拡幅等 (車線数の増加・減少、中央分離帯設置 (上下線分離)、道路中心線の移動が該当し、幅員変更のみは該当しません)
線形改良 (局部改良、橋梁架替、トンネル等による道路中心線の移動)、交差点の改良 (交差点立体化、接続道路位置の変更、導流路の設置・撤去が該当し、右左折車線の設置のみは該当しません)
- ・ SA・PA、IC・JCT、スマート IC、橋・高架 (延長 15m 以上)、トンネル、踏切、立体交差、横断歩道橋、料金所、SA・PA・駐車場、道路冠水想定箇所、ロックシェッド・スノーシェッド・スノーシェルター、交差点名称、道路通称名 (直轄国道バイパス名など) 等が該当します。

(6) 「データ化反映結果」欄 (T 列)

① 「データ化済」と書いてある行について

デジタル道路地図として既にデータ化済みです。記載データに変更や修正箇所がある場合、赤字で修正して下さい。また、線形変更等により大幅な変更が生じた場合はその図面等をご提供下さい。

② 「未実施」と書いてある行について

右隣の「備考欄」や「資料提供確認欄」等を確認し、照会票を参照のうえご回答下さい。

(7) A 列の「社会資本欄」の行に記載のある箇所について

以下に従って、「DRM 該当判断結果」欄 (V 列) にプルダウンを用いて必要事項を記入して下さい。

① 「過年度受領」欄等に既に記載されているデータと重複している場合

「他の記載箇所と重複」を選択し、「備考」欄 (U 列) に、既に記載されているデータの「管理番号」(H 列) を記入して下さい。

② 「該当する」「該当する(一部区間)」の場合

当該行の記載内容を適宜赤字で修正・追記したうえで、必要図面もご提供下さい。

② 「該当しない」場合

工事内容が該当しない場合は「該当しない(工事内容)」を、供用予定が令和 4 年度以降のため該当しない場合は「該当しない」等年度に合わせ選択して下さい。

(8) A 列の「新規追加」欄の箇所について

「令和元年度末までに完成」と見込まれる箇所で、A 列の過年度受領済欄及び社会資本欄に記載されていないものがあれば、「新規追加」欄へ追記のうえ、必要図面もご提供下さい。(事業工区の一部区間等暫定的な供用も含む)

(9) 「民間提供可否」欄 (X 列)

民間への資料提供が「可」の場合は「○」、「否」の場合は「×」を記入してください。

①提供先となる民間・・・DRM協会との契約により DRMDB を使用している民間企業主にはトヨタ自動車(トヨタマップマスター)、パイオニア(インクリメントP)、ゼンリン、昭文社、ダイナミックマップ基盤などデジタル道路地図を作成している民間企業)

②提供する資料・・・位置図、平面図、縦断図、標準断面図、道路中心線座標リスト

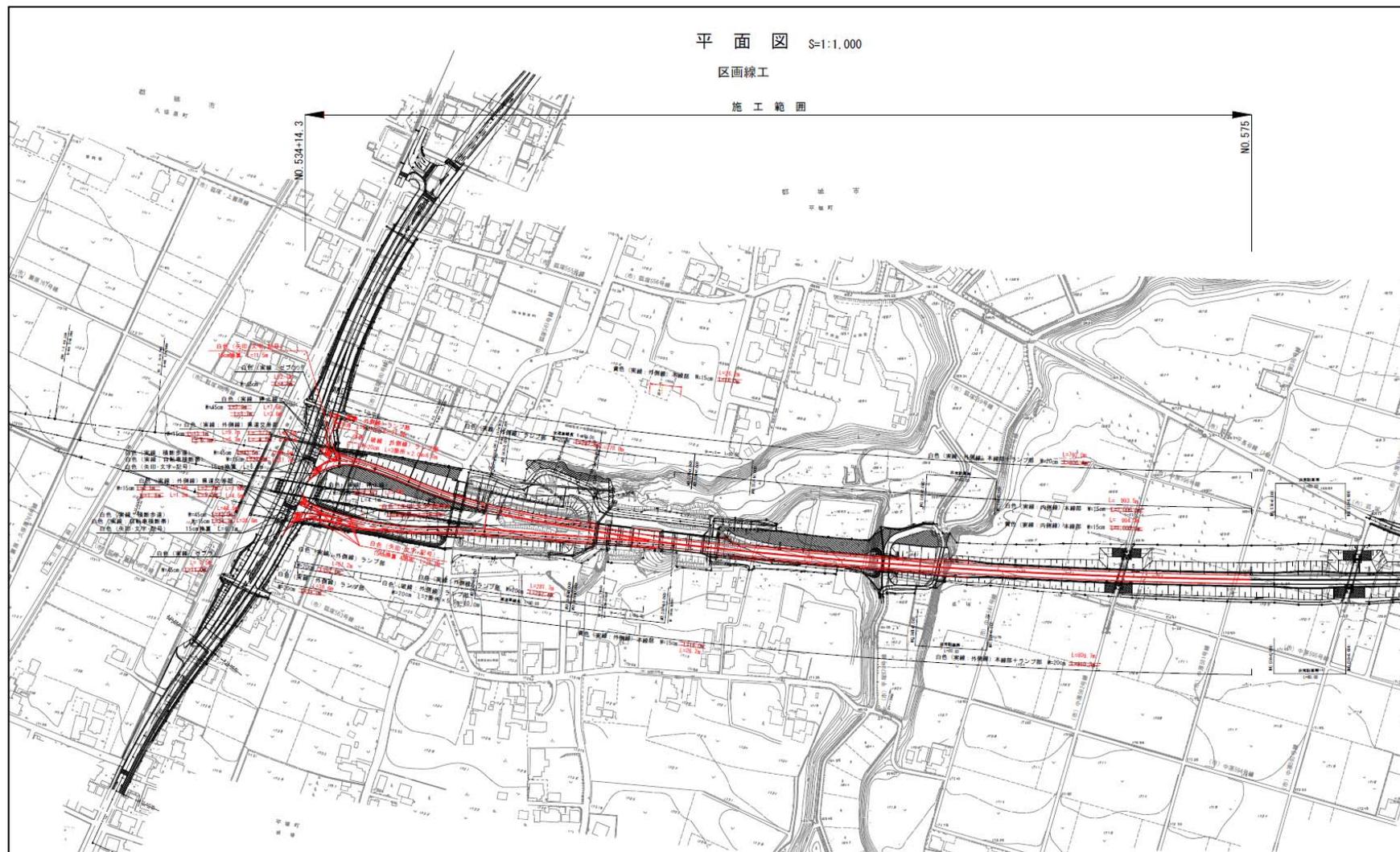
③民間での資料の取り扱いなど

- ・地図作成のみに使用(DRM協会との契約で決められているデータベースの使用目的による)
- ・資料の機密保持(DRM協会との契約で決められている機密の保持(第三者への漏洩禁止)による)
- ・完成時との相違(特に計画・工事段階の資料などで、完成時と異なることが想定されるような場合には、提供を受けた企業の責任で、その差異を最終確認)

例3 平面図 CAD データ (工事用等)

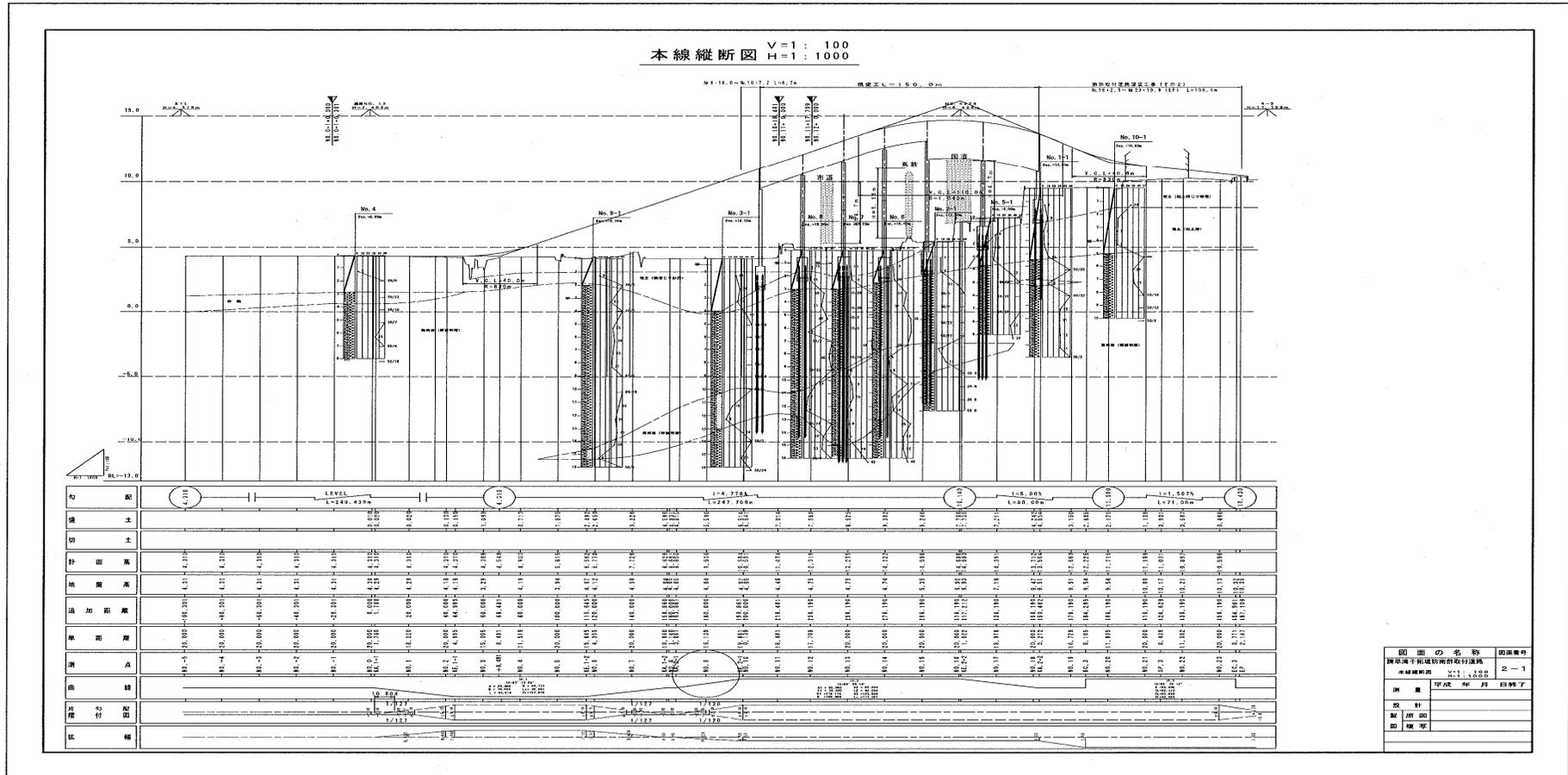
CAD 図面のデータを提出する。

当該予定全区間を含む縮尺 1/500~1/1,000 程度の区画線協議図等、供用時の状況を反映した図面がある場合は、その図面の CAD データを提出する。
供用時の状況を反映した図面が無い場合は、当該予定全区間を含む縮尺 1/500~1/1,000 程度の道路詳細設計図等の CAD データを提出する。



例4 縦断面図 CAD データ

CAD 図面データを提出する。



縦断面図

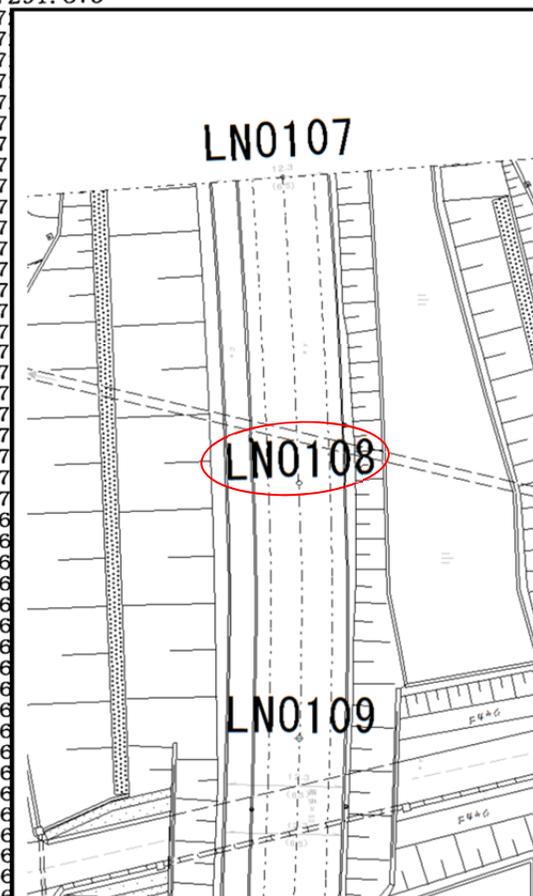
例6 中心線座標リスト

現場名：

<<座標LIST>> (世界測地系)

点名	X座標	Y座標
LNO107	-68864.884	-18386.413
LNO107+20	-68866.316	-18365.234
LNO107+40	-68880.963	-18350.466
LNO107+60	-68888.996	-18332.511
LNO107+80	-68897.027	-18314.558
LNO108	-68905.059	-18296.606
LNO108+20	-68913.091	-18278.651
LNO108+40	-68921.126	-18260.690
LNO108+60	-68929.166	-18242.720
LNO108+80	-68937.212	-18224.736
LNO109	-68945.264	-18206.736
LNO109+20	-68953.340	-18188.684
LNO109+40	-68961.429	-18170.603
LNO109+60	-68969.526	-18152.502
LNO109+80	-68977.633	-18134.376
LNO110	-68985.752	-18116.225
LNO110+20	-68993.884	-18098.046
LNO110+40	-69002.029	-18079.836
LNO110+60	-69010.188	-18061.594
LNO110+80	-69018.364	-18043.315
LNO111	-69024.200	-18024.311
LNO111+20	-69029.517	-18005.157
LNO111+40	-69034.837	-17985.997
LNO111+60	-69040.187	-17966.727
LNO111+80	-69045.529	-17947.452
LNO112	-69050.732	-17928.141
LNO112+20	-69055.936	-17908.829
LNO112+40	-69061.140	-17889.518
LNO112+60	-69066.343	-17870.207
LNO112+80	-69071.547	-17850.895
LNO113	-69076.751	-17831.584
LNO113+20	-69082.106	-17812.313
LNO113+40	-69087.531	-17793.063
LNO113+60	-69092.956	-17773.814
LNO113+80	-69098.382	-17754.562
LNO114	-69103.807	-17735.312
LNO114+20	-69109.233	-17716.061
LNO114+40	-69114.658	-17696.811
LNO114+60	-69120.020	-17677.543
LNO114+80	-69125.332	-17658.262
LNO115	-69130.645	-17638.980
LNO115+20	-69135.958	-17619.698
LNO115+40	-69141.270	-17600.417
LNO115+60	-69146.583	-17581.135
LNO115+80	-69151.908	-17561.857
LNO116	-69157.240	-17542.581
LNO116+20	-69162.571	-17523.305
LNO116+40	-69167.902	-17504.028
LNO116+60	-69173.233	-17484.752
LNO116+80	-69178.564	-17465.476
LNO117	-69170.127	-17442.382

点名	X座標	Y座標
LNO117+20	-69189.263	-17426.839
LNO117+40	-69194.638	-17407.427
LNO117+60	-69200.034	-17387.943
LNO117+80	-69205.453	-17368.375
LNO118	-69210.902	-17348.699
LNO118+20	-69218.006	-17329.499
LNO118+40	-69226.322	-17310.709
LNO118+60	-69234.657	-17291.873
LNO118+80	-69243.029	-17
LNO119	-69251.442	-17
LNO119+20	-69259.922	-17
LNO119+40	-69271.791	-17
LNO119+60	-69284.670	-17
LNO119+80	-69297.517	-17
LNO120	-69310.373	-17
LNO120+20	-69323.278	-17
LNO120+40	-69336.276	-17
LNO120+60	-69352.334	-17
LNO120+80	-69365.022	-17
LNO121	-69390.972	-17
LNO121+20	-69408.978	-17
LNO121+40	-69426.828	-17
LNO121+60	-69444.579	-17
LNO121+80	-69462.287	-17
LNO122	-69480.010	-17
LNO122+20	-69497.804	-17
LNO122+40	-69515.725	-17
LNO122+60	-69533.807	-17
LNO122+80	-69552.088	-17
LNO123	-69571.523	-17
LNO123+20	-69591.867	-17
LNO123+40	-69612.086	-17
LNO123+60	-69632.221	-16
LNO123+80	-69652.306	-16
LNO124	-69672.364	-16
LNO124+20	-69692.416	-16
LNO124+60	-69732.536	-16
LNO124+80	-69752.719	-16
LNO125	-69772.936	-16
LNO125+20	-69793.102	-16
LNO125+40	-69813.224	-16
LNO125+60	-69833.304	-16
LNO125+80	-69853.347	-16
LNO126	-69873.373	-16
LNO126+20	-69893.396	-16
LNO126+40	-69913.420	-16
LNO126+60	-69933.445	-16
LNO126+80	-69953.471	-16
LNO127	-69973.498	-16
LNO127+20	-69993.525	-16
LNO127+40	-70013.554	-16



※リストの最初のページに「日本測地系」もしくは「世界測地系」の区分を記載してください。